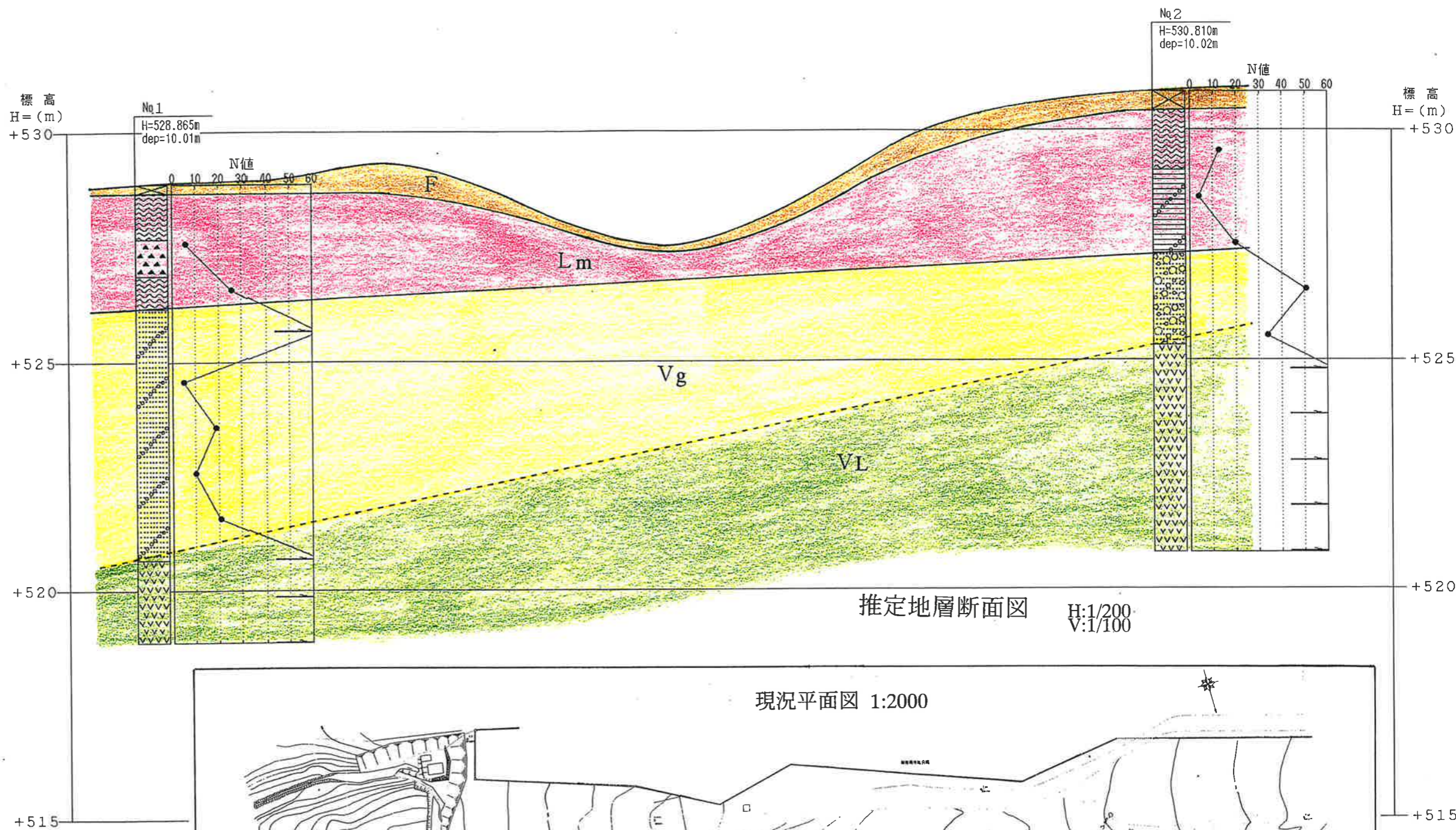


ボーリング	標高	掘削深度	座標 : X	座標 : Y
No. 1	H=528.865m	dep=10.01m	-80625.451	35152.861
No. 2	H=530.810m	dep=10.02m	-80582.714	35140.476

調査件名	御殿場市一般廃棄物最終処分場建設工事に伴う地質調査		
調査地住所	静岡県御殿場市板妻地内		
ボーリング調査位置図		縮尺 : 1/1000	



—凡例—

記号	主体土質	層名
F	黒ボク	表土
Lm	ローム	関東ローム層
Vg	火山砂礫	富士火山噴出物
VL	安山岩系溶岩類	

ボーリング柱状図

御殿場市一般廃棄物最終処分場建設工事(に伴
つ)地質調査

ボーリングNo.	1								
----------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 1		調査位置	静岡県御殿場市板妻地内		北緯	
発注機関	株式会社日本環境工設計事務所		調査期間	平成10年 2月25日~10年 2月27日	東経		
調査業者名	株式会社 ジオレスト 電話 (03-3376-8850)	主任技師	津田 豊	代理人	中村 敏哉	ボーリング コア責任者	南田 正詞
孔口標高	H= 528.865m	方位	北 0° 東 90° 西 270° 南 180°	地盤勾配	水平 0°	ハンマー 落下用具	コーンブーリー
総掘進長	10.01m	角度	180° 上 90° 下	使用機種	試錐機 エンジン	ポンプ	V-6

標尺	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日				標準貫入試験				原位置試験 深 (m)	試験名 および結果	試料採取 深 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進 月 日			
										深	10cm ごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値	深	試験番号	採取方法	室内試験										
1	527.66	1.00	1.20	ローム	暗褐	中位	φ2~15mm程度の火山砂(軽石)主体	1.15	4	1	1	6	30	1.45	6	6	14	25	30						2/26		
2	526.86	0.80	2.00	スコリア	黒褐	硬	固結状をなす 細粒状の浮石・スコリアを混入する	2.15	6	6	14	25	30	2.15	6	6	14	25	30						2/27		
3	526.16	0.70	2.70	ローム	褐灰	硬	固結状をなす 細粒状の浮石・スコリアを混入する	2.40	60	9	60	9	60	3.15	9	60	9	60	9							2/27	
4							φ2~30mmの火山砂を主体とし部分的にφ60mm程度の礫も見られる 砂・礫は軟質で多孔質である スコリア・炭化物を多量に混入する 3.7~4.6m付近黒灰色の軟弱な粘土を挟む 下部に行くに従い砂礫状をなす	4.15	1	1	3	5	30	4.45	1	1	3	5	30								
5								4.45	5	9	5	19	30	5.15	5	9	5	19	30								
6								5.45	4	4	2	10	30	6.15	4	4	2	10	30								
7								6.45	4	10	7	21	30	7.15	4	10	7	21	30								
8	520.66	5.50	8.20					7.45	60	8	60	8	60	8.15	60	8	60	8	60								
9								8.23	60	2	60	2	60	9.00	60	2	60	2	60								
10	518.86	1.81	10.01					9.02	60	1	60	1	60	10.00	60	1	60	1	60								

ボーリングNo. 1 (X:-80625.451, Y:35152.861)

ボーリング柱状図

調査名称 御殿場市一般廃棄物最終処分場建設工事に伴う地質調査

事業・工事名

ボーリングNo.	2								
----------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

ボーリング名	No. 2		調査位置	静岡県御殿場市板妻地内		北緯	
発注機関	株式会社日本環境工設計事務所		調査期間	平成10年2月27日～10年3月2日		東経	
調査業者名	株式会社ジオレスト 電話(03-3376-8850)	主任技師	現場代理人	中村敏哉	コ鑑定者	ボーリング責任者	南田正嗣
孔口標高	H=530.810m	方位	地盤勾配	K R - 1 0 0		ハンマー落下用具	コーンブーリー
総掘進長	10.02m	方位	使用機種	N S 7 5		ボンプ	V - 6

標尺	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠度	相対密度	記	孔内水位 (m) / 測定月日			標準貫入試験			原位置試験 試験名 および結果	深さ (m)	試料採取 番号	採取方法	室内試験	掘進 月日
										深さ (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	深さ (m)	打撃回数	貫入量 (cm)						
1	530.41	0.40	0.40	図	表土	黒褐			黒ボク主体 スクリヤ・曹掘り入られる スクリヤ・曹石を混入する 半面粘質土である 0.8~1.0mmの軟質である 1.4mm以下のスクリヤ主体となる	1.15	2	5	6	13	30					2 27	
2	529.11	1.30	1.70	図	ローム	暗褐	硬		ローム及び曹ボク主体 スクリヤを混入する 2.6mm以上の5~4.0mmの礫を 多量混入する	1.45	1	1	2	4	30						
3	527.31	1.80	3.50	図	礫混じり粘土	黒褐~茶褐	中位~硬		φ2~8.0mmの火山砂礫主体 フトリック又は粘土混じり細砂 含水少なめ 比較的良く締まっている	2.15	1	1	2	4	30						
4					砂礫	暗灰				3.15	3	8	9	20	30						
5	525.31	2.00	5.50	図						3.45	29	18	4	51	30						
6					安山岩	暗灰			6.5m付近まで多孔質で軟岩 最大コア長100mm程度 亀裂部に粘性土を少量挟む	4.15	10	10	14	34	30						
7										5.15	10	10	14	34	30						
8										6.00	60	3			30						
9										6.03	60	3			30						
10	520.79	4.52	10.02	図						7.01	60	1			30						
										8.00	60	5			30						
										8.05	60	1			30						
										9.00	60	1			30						
										9.01	60	1			30						
										10.00	60	2			30						
										10.02	60	2			30						

ボーリングNo.2 (X:-80582.714, Y:35140.476)